

中国地方国際物流戦略チームの取り組み状況

令和2年9月25日

中国地方国際物流戦略チーム事務局

中国地方国際物流戦略チームの活動概要 (2020年)

- ・2020年は、利用者懇談会 1回(1港)を開催。
- ・世界的に流行している新型コロナウイルス感染症に関し、関係企業や団体へアンケートやヒアリングを実施し、その影響等について整理した。
- ・利用者懇談会や新型コロナウイルス感染症影響調査で頂いた意見・要望をもとに、部会・本会議で政策提言へ反映させ、政府や中央省庁へ要望を行う。
- ・物流ネットワーク機能継続検討WG関連として、6月に海上輸送利用のガイドライン(広島港版)を策定、公表し、9月には定期航路情報の一括配信サービスを中国運輸局HPで開始。

2020年の活動スケジュール

会議名等	2019年			2020年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
中国地方 国際物流戦略チーム	★ 本会議		政策提言									● 部会	★ 本会議
利用者懇談会											▽ 宇野港		
新型コロナウイルス感 染症影響調査									アンケート、ヒアリング				
物流ネットワーク 機能継続WG									■ 海上輸送利用のガイドライン (広島港版)策定、公表		■ 定期航路情報の公表		

利用者懇談会の開催

- ・中国地方国際物流戦略チームの取り組みの一つとして、港湾利用者の方々の物流全般に関するニーズを把握し、港の機能改善等に反映させるために、利用者懇談会を開催している。
- ・2006年(平成18年)以降、これまで39回(のべ15港)(鳥取港、浜田港、境港、水島港、宇野港、広島港、岩国港・大竹港、宇部港・小野田港、呉港、福山港・尾道糸崎港、徳山下松港・三田尻中関港)で開催し、管内各港の状況変化を鑑みながら、意見・要望を政策提言に反映する。
- ・2020年8月には、宇野港で利用者懇談会を開催した。

宇野港利用者懇談会

開催概要

- 開催日：2020年8月4日(火)
- 会場：玉野市総合保健福祉センター
- 参加企業：地元企業9社

主な意見内容

- 【田井地区】
 - ・水面整理場の有効活用の早期実現
 - ・RORO船の寄港として、更なる拠点性の強化
- 【日比地区】
 - ・岸壁の増深や老朽化対策の推進
- 【宇野地区】
 - ・宇高航路などのフェリー航路への支援
- 【共通】
 - ・高速道路や水島港から宇野港へのアクセス強化



宇野港



宇野港利用者懇談会

物流ネットワーク機能継続検討WGの開催（2019年度）

- ・ 昨年（2018年）の第8回本会議で承認された「物流ネットワーク機能継続検討ワーキンググループ」を、3回開催。
（第1回：H31.3.26、第2回：R1.7.4、第3回：R1.8.29）
- ・ 平成30年7月豪雨における広域物流ネットワーク寸断に伴う物流面の問題点を洗い出し、今後の中国地方管内における非常災害時の物流のあり方を検討を行った。

平成30年7月豪雨では、中国地方の各所において土砂災害や浸水被害等による企業設備の毀損、また長期にわたる断水の影響に加え、中国地方の東西を結ぶ幹線道路や鉄道などの物流の大動脈が寸断され、広域物流ネットワークの強靱化、とりわけリダンダンシーを確保することの重要性が改めて認識された。

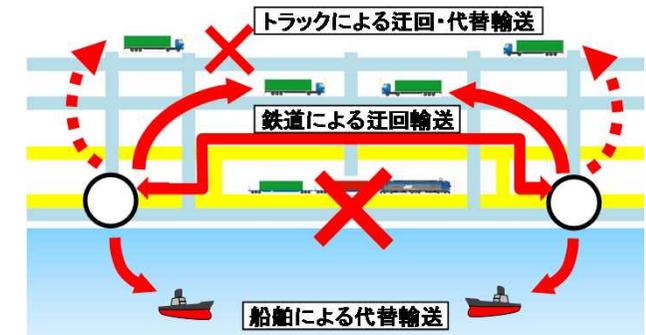


《鉄道網の寸断》

《道路網の寸断》

【目指すべき方向】海上輸送による物流網のリダンダンシー機能の強化
※通常の陸上物流ネットワークの一部が途絶えた場合、**海上輸送を含んだ 代替的な輸送網の構築**を図る。

【対応方針(案)】**普段、海上輸送を利用していない企業や既に海上輸送を利用している企業にも参考となる情報を提供できる環境を構築し、トラック輸送、鉄道輸送、海上輸送などの多様な物流輸送によるリスク分散を促す**



《物流機能を維持するリダンダンシー確保のイメージ》

具体的な取組

【課題①】
平時に海上輸送を実施していない事業者が災害時に海上輸送に切り替えるのが困難。
⇒【具体的な取組①】
輸送モードの多様化と利用方法の共有

【課題②】
海上輸送要請に対する事業者間・行政間の連携体制が不十分。
⇒【具体的な取組②】
複数連携輸送の連絡・協力体制の構築

【課題③】
災害発生時に海上輸送網の健全度の情報発信が不十分。
⇒【具体的な取組③】
海上輸送網の情報発信の充実

【短期での取組】海上輸送利用のガイドラインの構築
海上輸送網の情報発信の充実

【中期での取組】求船・求貨システムの構築

WG構成員

機関名	所属及び役職
有識者	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授
	島根県立大学 総合政策学部 教授
	広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授
経済団体等	一般社団法人 中国経済連合会 部長
	中国地方商工会議所連合会 (広島商工会議所 事務局長兼産業・地域振興部長)
物流関係団体	中国地方海運組合連合会 専務理事
	中国地方港運協会 専務理事
	中国旅客船協会 専務理事
	中国トラック協会 専務理事
地方公共団体等	日本貨物鉄道株式会社 関西支社 広島支店 副支店長
	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、呉市、境港管理組合
国の機関	中国運輸局、中国地方整備局

海上輸送利用のガイドラインの策定について

背景

- ・平成30年7月豪雨災害の際、道路や鉄道が寸断され、陸上輸送が停滞。
- ・既存の定期航路が十分活用できず、海上輸送への転換不可。

豪雨災害で明らかになった課題

- ・海上輸送を利用するための手続きが複雑かつ依頼先が不明。
- ・船会社は、普段つきあいのない荷主の急な要望への対応は不可。

物流戦略チームでの検討結果

海上輸送の普段使いが重要

瀬戸内海・日本海を通過する主な航路



海上輸送を利用する際に必要な情報を港湾毎に「ガイドライン」としてとりまとめる。

- ・海上輸送の仕組みの解説。
- ・定期の国際航路、国内航路の一覧。
- ・海事関係者の連絡先。
- ・災害発生時の海事関係者の窓口。

取組方針

- ✓ 広島港版は6月25日に作成し、物流戦略チームのHPへも掲載中。
- ✓ 広島県内の主な荷主へも配布済み。
- ✓ 継続して管内主要港について取りまとめ、管内全域に配布する。

海上輸送利用のガイドライン

～ 海上輸送による物流効率化の推進 ～

令和2年6月

中国地方国際物流戦略チーム
物流ネットワーク機能継続検討ワーキンググループ

中国地方国際物流戦略チームの概要

設置目的

- 中国・ASEAN等が生産拠点・販売拠点として急成長し、国内企業が調達・製造・販売拠点をアジアにシフト
- 我が国の経済活動を支える国際物流と国内の陸・海・空の各輸送モードが有機的に結びついた迅速、低廉でシームレスな物流ネットワークの構築が必要
- 関係機関相互の密接な連携により、地域の実情に応じた国際物流のボトルネックの解消と、効率的な新しい物流システムの構築を目指す

組織

中国地方国際物流戦略チーム（本会議）委員名簿

	所属及び役職
経済団体等	一般社団法人 中国経済連合会 会長（本部長）
	中国地方商工会議所連合会 会頭
有識者	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授
	島根県立大学 総合政策学部 教授
	広島大学大学院 工学研究科 准教授
物流関係団体等	中国地方海運組合連合会 会長
	中国地方港運協会 会長
	神戸通関業会 理事長
	門司通関業会 会長
	中国トラック協会 会長
	中国地方倉庫協会連合会 会長
	中国冷蔵倉庫協議会 会長
	広島国際航空貨物運送協会 会長
	日本貨物鉄道株式会社 関西支社 広島支店長
地方公共団体等	鳥取県知事
	島根県知事
	岡山県知事
	広島県知事
	山口県知事
	呉市長
	境港管理組合 管理者

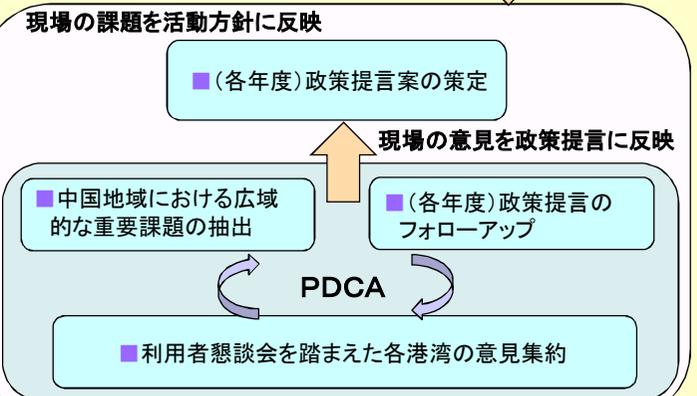
	所属及び役職
地方支分部局等	総務省 中国総合通信局長
	法務省 広島入国管理局長
	財務省 神戸税関長
	財務省 門司税関長
	厚生労働省 広島検疫所長
	厚生労働省 神戸検疫所長
	厚生労働省 福岡検疫所 門司検疫所支所長
	農林水産省 神戸植物防疫所長
	農林水産省 動物検疫所 神戸支所長
	経済産業省 中国経済産業局長
	国土交通省 中国地方整備局長
	国土交通省 中国地方整備局 副局長
	国土交通省 中国運輸局長
	国土交通省 大阪航空局長
	海上保安庁 第六管区海上保安本部長
	海上保安庁 第七管区海上保安本部長
	海上保安庁 第八管区海上保安本部長
株式会社日本政策投資銀行 中国支店長	

中国地方国際物流戦略チーム

本会議

- 中国地方国際物流戦略チームの活動方針の策定
 - 活動方針に基づく、政策提言の方向性策定
 - 政策提言の策定
- 活動方針を政策提言に反映

部会



利用者懇談会

- 各港湾における取り組み状況・課題に関する意見交換

検討結果報告

- 非常災害時における物流のあり方に関する検討

物流ネットワーク機能継続WG

中国地方国際物流戦略チームの活動概要（2006年度～2019年度）

- ・「中国地方国際物流戦略チーム」では、平成18年8月の設置以降、**9回の本会議、19回の部会、39回の各港利用者懇談会**を開催。
- ・利用者懇談会で頂いた意見・要望をもとに、部会・本会議で政策提言へ反映させ、政府や中央省庁へ要望を行っている。

【利用者懇談会における意見】

- ・バルク貨物への支援策の検討
- ・港湾施設の新規整備、維持補修
- ・道路整備によるボトルネックや渋滞の解消
- ・夜間入出港、航行の規制緩和
- ・専用岸壁の改良や航路の維持浚渫への補助
- ・新規航路の誘致、既存航路の増便・維持支援
- ・港湾施設利用料の減免
- ・各種行政手続きの簡素化
- ・観光と物流の協調
- ・港の連携に向けた実務レベルの勉強会実施
- ・物流機能の強化に向けた内航定期航路誘致
- ・災害時の避難経路確保や港湾施設の耐震化
- ・船員不足、高齢化に対する行政の支援

等



利用者の声を聞き、物流の更なる効率化を目指します

【政策提言へ反映（令和元年）】

産業活動の国際競争力強化に資する物流の実現

- 国際バルク戦略港湾、日本海側拠点港、国際拠点港湾等における機能の充実
- 国際物流機能の維持・強化

国内物流の効率化に向けた連携の強化

- 地域間等の連携による物流効率化
- 多様な関係者との連携と協力による物流効率化

労働力不足に対する人材確保・育成・活用施策の促進

- 人材確保・育成施策促進
- 事業者間連携の促進
- ICT等の先進的技術活用

大規模災害に備えた強靱な物流ネットワークの構築

- 物流におけるリダンダンシーの確保（平時からの輸送方法の多様化）
- 災害時における支援物資の輸送ネットワークの強靱化
- 企業生産活動を支える輸送手段の多様化の促進と効率化の推進

【要望活動】



中国地方国際物流戦略チーム有志一同による政府への要望活動状況(R1.11.27)

【参考】中国地方国際物流戦略チームの活動経緯

年月	本会議・部会等	利用者懇談会等
【第Ⅰ期】 設立と緊急提言		
2006 (H18)	8月 9月 第1回本会議 第1回部会、第1回勉強会	広島港・大竹港①／徳山下松港①／水島港①／ 浜田港①／境港①
2007 (H19)	1月 3月 5月 6月 第2回部会 第3回部会 第2回本会議 緊急提言発表	鳥取港①／呉港①／福山港・尾道糸崎港①／ 宇部港・小野田港①
【第Ⅱ期】 緊急提言を踏まえたアクションプランの作成		
2007 (H19)	9月 12月 第4回部会 第5回部会	(7月)中国地方国際物流シンポジウム (9月)国際物流懇談会 in 山口
2008	2月	アクションプラン発表
【第Ⅲ期】 提言の深化とバルクターミナル構想に係る検討		
2008 (H20)	6月 第3回本会議	(9月)大竹港シンポジウム(後援) 呉港②／鳥取港②・境港②／浜田港②／水島港② ／広島港②
2009 (H21)	1月 5月 9月 12月 第6回部会 第7回部会 第4回本会議 第8回部会	徳山下松港②・三田尻中関港①／ 岩国港①・大竹港②／尾道糸崎港②／ 宇部港・小野田港②
2010 (H22)	1月 2月 3月 6月 第9回部会	(1月)中国地方のバルク港湾の今後を考えるフォーラム (2月)バルクフォーラム in 周南 in福山 (3月)物流セミナー
【第Ⅳ期】 震災を踏まえた地域防災力と産業競争力の強化に向けた検討		
2011 (H23)	3/11 3/22 7/22 8月 【東日本大震災】 第10回部会 第5回本会議 政策提言とりまとめ	
2012 (H24)	3/1 第11回部会	(3月)国際物流フォーラム2012

年月日	本会議・部会等	利用者懇談会等
【第Ⅳ期】 震災を踏まえた地域防災力と産業競争力の強化に向けた検討		
2013 (H25)	1/18 第12回部会	境港③／水島港③／広島港③／ 宇部港・小野田港③／岩国港・大竹港② 福山港・尾道糸崎港③／浜田港③
2014 (H26)	3/12 10/17 第13回部会 第14回部会	呉港③／鳥取港③／ 徳山下松港・三田尻中関港③ (7月)阪神港利用促進プロジェクト活性化セミナー (後援)
2015 (H27)	12/2 第15回部会	広島港④／宇野港①
2016 (H28)	2/17 8/25 第6回本会議 第16回部会	境港④／浜田港④／岩国港・大竹港③／
2017		宇部港・小野田港④
【第Ⅴ期】 産業競争力強化のための物流の連携強化と生産性向上に向けた検討		
2017 (H29)	5/25 8/25 第7回本会議 第17回部会	呉港④
産業競争力強化のための物流の連携強化、生産性向上及び物流ネットワークの強靱化に向けた検討		
2018 (H30)	9/18 10/9 第18回部会 第8回本会議	水島港④／福山港・尾道糸崎港④
2019 (R1)	9/9 10/4 第19回部会 第9回本会議	徳山下松港・三田尻中関港④ 物流ネットワーク機能継続検討①②③
2020 (R2)	9/25 第20回部会	宇野港②